

第7回 買物公園のあり方検討会議

1. エリアプラットフォームについて
2. 未来ビジョン（概案）について
 - ・ワークショップ（ゾーンⅠ～Ⅲについて）
3. 社会実験（案）について
 - ・ワークショップ（モビリティについて）
4. 次回会議について

1. エリアプラットフォームについて（規約案）

初動期の規約案の概要について（規約案は別紙1参照）

詳しくは規約案に基づき説明いたします。

組織(規約)はエリアプラの成長に合わせて変化していきます！



組織構築のスケジュールについて


- ・ R6.1月下旬 エリアプラットフォーム規約完成（事務局にて作成）
 - ・ R6.1月下旬～2月上旬 参加予定団体などに入会の説明（事務局より説明）
 - ・ R6.2月中旬 エリアプラットフォーム組織構築（入会申込書の提出により参加）
 - ・ R6.3月19日(火) 第8回あり方検討会議 兼 エリアプラットフォーム会議（←ここで未来ビジョンを策定）
 - ・ R6.3月20日(水) ミニシンポジウム開催予定（エリアプラットフォームにて主催，運営は事務局で実施）
 - ・ R6.4月から 本格的に活動開始
- ※エリアプラ会議で社会実験空間の利活用方法などの検討・議論し，社会実験空間の活用

加入予定者について

- 【商工関係】 : 旭川商工会議所，旭川平和通商店街振興組合，5・7小路ふらりーと中央市場組合，三和・緑道商店会，緑橋ビル商店街振興組合
- 【エリア団体】 : 旭川平和通買物公園企画委員会，旭川まちなかマネジメント協議会，緑道ワークス
- 【観光・金融・デザイン】 : 旭川家具工業協同組合，旭川観光コンベンション協会，旭川信用金庫
- 【その他】 : 市民，専門家，旭川市（地域振興部・経済部・土木部）

2. 未来ビジョン（概案）について ※別紙2参照

2



買物公園エリア未来ビジョン

ver.1.0

買物公園エリアプラットフォーム

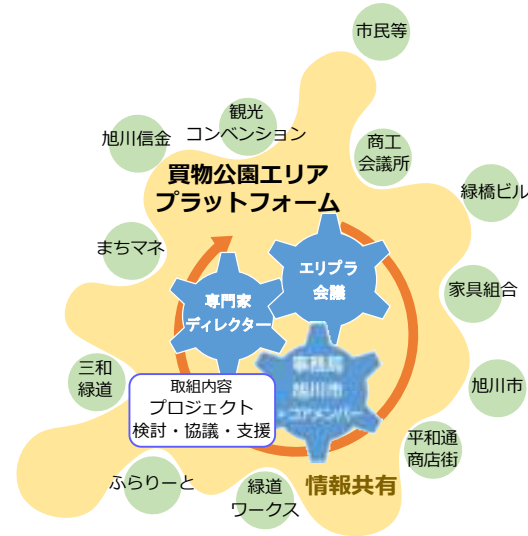
令和6年3月

2. 未来ビジョン（概案）について

◆未来ビジョンと来年度以降の取組の関係性について

今年度
(R5年度)
つくるもの

エリアプラットフォーム (組織)

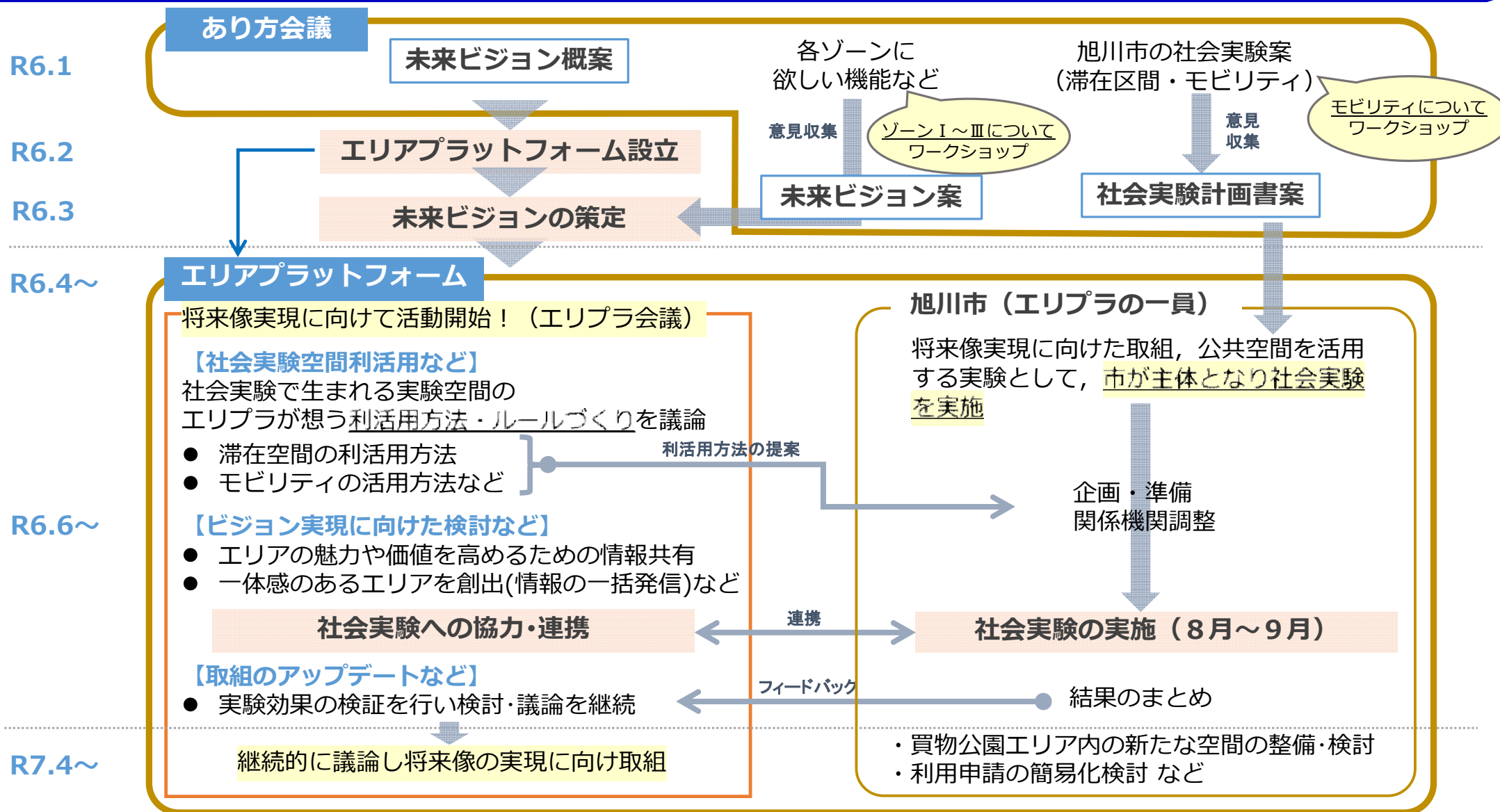


未来ビジョン (ビジョン)



来年度(4月)以降は, “未来ビジョン” 実現に向け,
エリアプラットフォームとして, 取組みを進める...

2. 未来ビジョン（概案）について



2. 未来ビジョン（概案）について

◆未来ビジョンフレーズ（案）選出の流れ

第6回あり方検討会議の際に委員の皆様からご提案

「主語（人称）／状態（事業者目線・利用者目線・個性・寛容性）／場所」の3つに分類

リード文等での補足を含めて以下の項目をクリアできるフレーズを抽出/リード文構成

- 買物公園に関係する人たち**全員（利用者・事業者、来訪者・居住者）に繋がる**フレーズ
- 未来ビジョンに関係する**皆が自分事と思える**フレーズ
- リード文を含めて、**現状との違いがわかり**、将来の姿を現したフレーズ
- 多様な人を受け入れるまちの**寛容性が表現**されたフレーズ
- **旭川の中心性**を感じるリード文構成
- 古いものも新しいものも、**変化を感じる**ようなリード文構成

◆未来ビジョンのフレーズ（案）

未来ビジョンでは、以下の**フレーズ+リード文**で構成予定

わたしの「毎日」がここにある

日常も非日常も、ここで過ごすことが暮らしの一部となり、みんなが満たされる、
 これまでの歩みを感じながら、変わっていける、つながれる、
 そんな旭川の中心である「ここ=買物公園」をわたしたちがつくっていく。

※下線部は皆さまから挙げられたキーワード

（1）本日のテーマ

①未来ビジョン（概案）について（ゾーンⅠ～Ⅲ）

②社会実験（案）について（モビリティ）

<未来ビジョン（概案）について>

- 未来ビジョンの各ゾーン（Ⅰ～Ⅲ）で新たに欲しいものや機能、増えて欲しい活動を抽出



キッチンカー



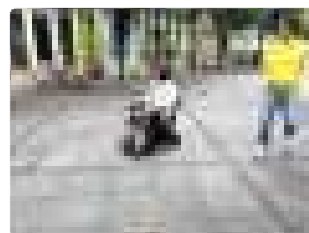
公共空間等を活用して
お試し出店ができる機能



小さな子どもが
遊べる場

<社会実験（案）について（モビリティ）>

- 駅前や交通結節点に集中している人の流れをエリア全体に広げていくための手段として、滞在空間の設置により来街目的となる場を創出し、移動のしやすさを向上させるためにモビリティの運行をする実験を考えている。モビリティを活用する場合、どのような仕掛け（ルート工夫など）をすれば良いか
※モビリティを活用しない意見も可、その場合、人の流れを広げる別の代替案を出してください



WHILL



電動カート



電動KB

3. ワークショップ

(2) グループワークの流れ (各50分程度)

- ① 事務局よりWSのルール説明及びミニレクチャー (説明) (5分)
- ② グループ討議 (意見出し: 5分, グループ討議: 15分, 意見整理: 10分)
- ③ 発表 (発表3分・質疑2分を3班, 計15分)
- ④ 座長・副座長総括 (5分)

◆班分け

テーマ① (未来ビジョン)

グループ	氏名	ファシリテーター
ゾーンⅠ	中田 崇太 林 亜優 山田 直人 事務局	青木 (OC) 鈴木 美央
ゾーンⅡ	有馬 準 佐藤 真紀恵 高橋 遼太郎 長尾 英次 事務局	鈴木座長
ゾーンⅢ	草野 常幸 久保 竜弥 四戸 秀和 蜂須賀 咲来 事務局	三浦副座長

テーマ② (社会実験: モビリティ)

グループ	氏名	ファシリテーター
1	有馬 準 佐藤 真紀恵 長尾 英次 事務局	青木 (OC) 鈴木 美央
2	草野 常幸 四戸 秀和 中田 崇太 林 亜優 事務局	鈴木座長
3	久保 竜弥 高橋 遼太郎 蜂須賀 咲来 山田 直人 事務局	三浦副座長

(3) グループワークのルール

- ・ 進行がスムーズに行われるよう互いに協力してください。
- ・ 多くのことが言いたいときでも、なるべく他の人も参加できるように配慮してください。
(発言は端的にお願いします。)
- ・ 自由な意見を出す場になります。批判や否定はせず、多様な意見を尊重してください。
- ・ If me… (もし私だったら…) の視点で考えてください。

(4) 未来ビジョン (概案) : ゾーン別の将来ビジョン及び実現に向けた取組

ゾーンⅠ : 北彩都ガーデン・旭川駅～1条周辺

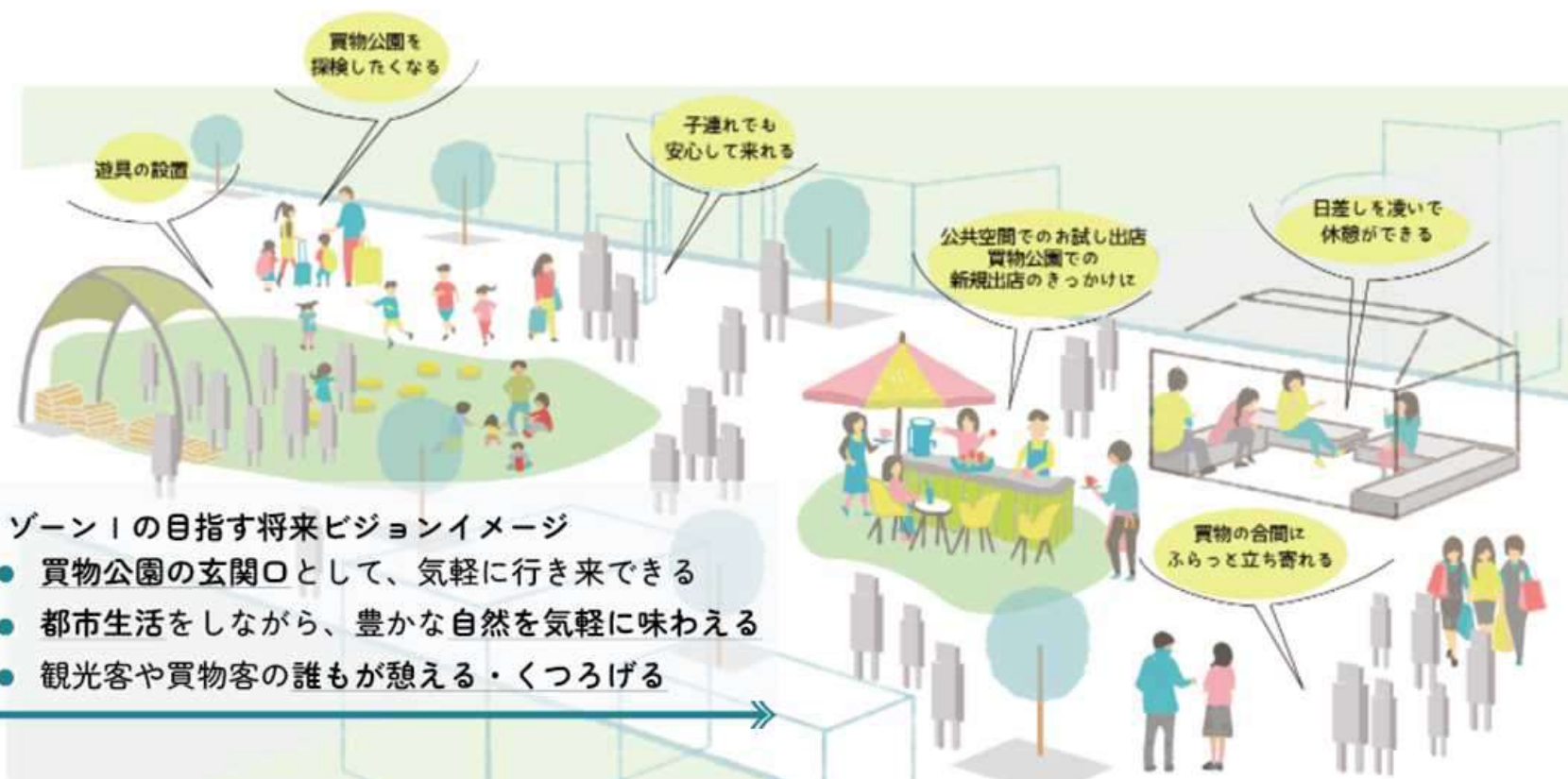
ビジョン実現に向けて 必要な機能

結節点に隣接した
憩える機能

快適な移動を
支援する機能

エリアの魅力を
発信する機能

店舗や建物が更新
されていく仕組み



(4) 未来ビジョン (概案) : ゾーン別の将来ビジョン及び実現に向けた取組

ゾーンⅡ : 2条～4条周辺

ビジョン実現に向けて 必要な機能

居心地よく
快適に滞在が
できる機能

気軽に滞在が
できる機能

特色ある
建物や空間が
活用できる機能



(4) 未来ビジョン (概案) : ゾーン別の将来ビジョン及び実現に向けた取組

ゾーンⅢ : 5条～6条周辺

ビジョン実現に向けて
必要な機能

飲食施設が
さらに快適に
なるような機能

広いスペースを
活用できる機能

親子で楽しみ
滞在できる機能



(4) 成果イメージ

ゾーンⅠ：北彩都ガーデン・旭川駅～2条周辺

以下を付箋記入し貼り付ける

- ・新たに欲しいもの
- ・欲しい機能
- ・増えて欲しい活動

※右の図や地図上に

吹き出しや**イラスト**が追加されるような内容を記入し、貼り付けてください！

買物公園だけでなく周辺の建物・仲通や近隣街区(緑橋通・昭和通)も含めて考えてください！

○○な機能

ポップアップ
ショップ

○○な機能



(5) 今後の流れ

本日 (1/23)

フレーズ案の提示

未来ビジョン (概案)
の提示

ゾーンI～III
ワークショップ

2/2 (期日)

意見の募集

未来ビジョンに反映
※ 座長・副座長で意見を整理

第8回 あり方検討会議
兼 エリプラ会議(3/19)

未来ビジョン (案) の提示

未来ビジョンの策定

ミニシンポジウム(3/20)

未来ビジョンの公表・発信

（1）社会実験（案）について

○滞在空間の設置（右図①～③）

- 滞在が集中している駅前周辺などから買物公園に人流を引き込むため、歩いても良いと感じる距離を目安として、3か所に、居心地が良く過ごしやすい、目的地となり得る滞在空間を設置し、買物公園全体への回遊（移動）を促す
 - 滞在時間の増加
 - 回遊性の向上（滞在空間の適切配置による）

○モビリティの活用（右図④）

- 人の流れをエリア全体に広げる手段として、旭川市（エリプラの一員）が考えているモビリティを試験的に活用し、効果を確認する
- 滞在空間との連携により、より移動してもらおう仕掛けづくりや移動のハードルを取り除き、人の流れがより広がる環境を生み出す

買物公園の中で電動カートを走行させる

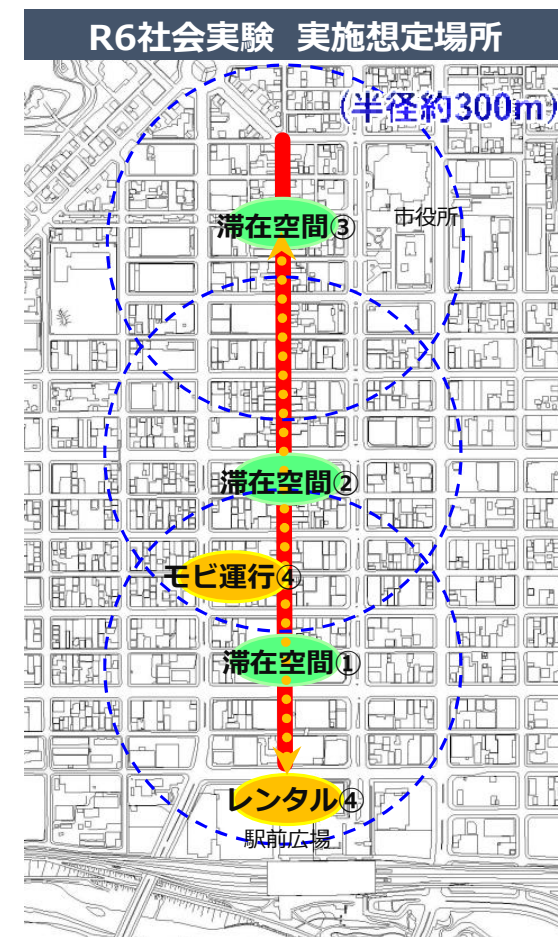


←.....→ 運行

駅前でモビリティをレンタルする



● レンタル



(2) 社会実験で試行する『モビリティ』について

	目的	ターゲット	狙う効果
電動カート	・決められたルートにより人の流れをエリア全体に広げる	・グループで移動したい人 (観光客や親子連れなど)	<ul style="list-style-type: none"> ・一度に複数の人の移動利便性が向上する ・遠いと感じて移動しない人などの移動喚起 ・買物公園内での歩車共存の受容性 ・ターゲット層の来街促進
WHILL	・個人で自由に移動することで、人の流れをエリア全体に広げる	・個人で移動したい人 (移動支援が必要な高齢者など)	<ul style="list-style-type: none"> ・遠いと感じて移動しない人の移動利便性の向上
電動キックボード	・個人で自由に移動することで、人の流れを中心市街地全体に広げる	・個人で自由に移動したい人 (観光客や若者など)	<ul style="list-style-type: none"> ・遠いと感じて移動しない人の移動利便性の向上 ・ターゲット層の来街促進

○買物公園エリアで試行するモビリティと走行条件

電動カート(駅前広場~7条緑道周辺間を運行)



- ・ 7人乗り車両/2台での運行
- ・ 運転手が乗車し、決まったルートを走行
- ・ 買物公園内では、乗り降りを容易にし、沿道の雰囲気を楽しめるよう、歩行者と同程度の速度で運行(6km以下)
- ・ 一般道路の車道も時速20km/h未満で走行でき、買物公園以外のエリアも運行できる
- ・ グリーンスローモビリティと呼ばれる車両で、電気で動き、環境に優しい車両

モビリティのレンタルサービス(駅前広場にレンタルスポット配置)



- ・ 5台をレンタル
- ・ 歩道も走行可能(買物公園も走行可能)
- ・ レンタル時間中は自由に移動可能



- ・ 5台をレンタル
- ・ 走行できる場所は車道のみ。買物公園のほか歩道や建物内では利用できない
- ・ レンタル時間中は自由に移動可能

3. ワークショップ (モビリティについて)

(3) グループワークの流れ (50分程度)

- ① 事務局よりミニレクチャー (説明) 及びWSのルール説明 (10分)
- ② グループ討議 (意見出し: 10分, 意見整理: 10分)
- ③ 発表 (発表3分・質疑2分を3班, 計15分)
- ④ 座長・副座長総括 (5分)

◆班分け

テーマ① (未来ビジョン)

グループ	氏名	ファシリテーター
ゾーンⅠ	中田 崇太 林 亜優 山田 直人 事務局	青木 (OC) 鈴木 美央
ゾーンⅡ	有馬 準 佐藤 真紀恵 高橋 遼太郎 長尾 英次 事務局	鈴木座長
ゾーンⅢ	草野 常幸 久保 竜弥 四戸 秀和 蜂須賀 咲来 事務局	三浦副座長

テーマ② (社会実験: モビリティ)

グループ	氏名	ファシリテーター
1	有馬 準 佐藤 真紀恵 長尾 英次 事務局	青木 (OC) 鈴木 美央
2	草野 常幸 四戸 秀和 中田 崇太 林 亜優 事務局	鈴木座長
3	久保 竜弥 高橋 遼太郎 蜂須賀 咲来 山田 直人 事務局	三浦副座長

3. ワークショップ (モビリティについて)

(4) ワークショップ

- ・ 買物公園エリア全体に人の流れを広げるために、電動カート等を運行したら良さそうな場面 (シーン) やより良い活用方法を挙げてみてください。

① 以下を付箋に記入し、スポットに貼り付ける

- ・ 乗って/使ってもらいたいターゲット(誰・何のため)
- ・ 何時 (いつ)
- ・ つなぎたいスポット (どことどこをつなぐ)
- ・ どうしたら利用してもらえるか/どう利用するか など

運行するルート
地図に表現

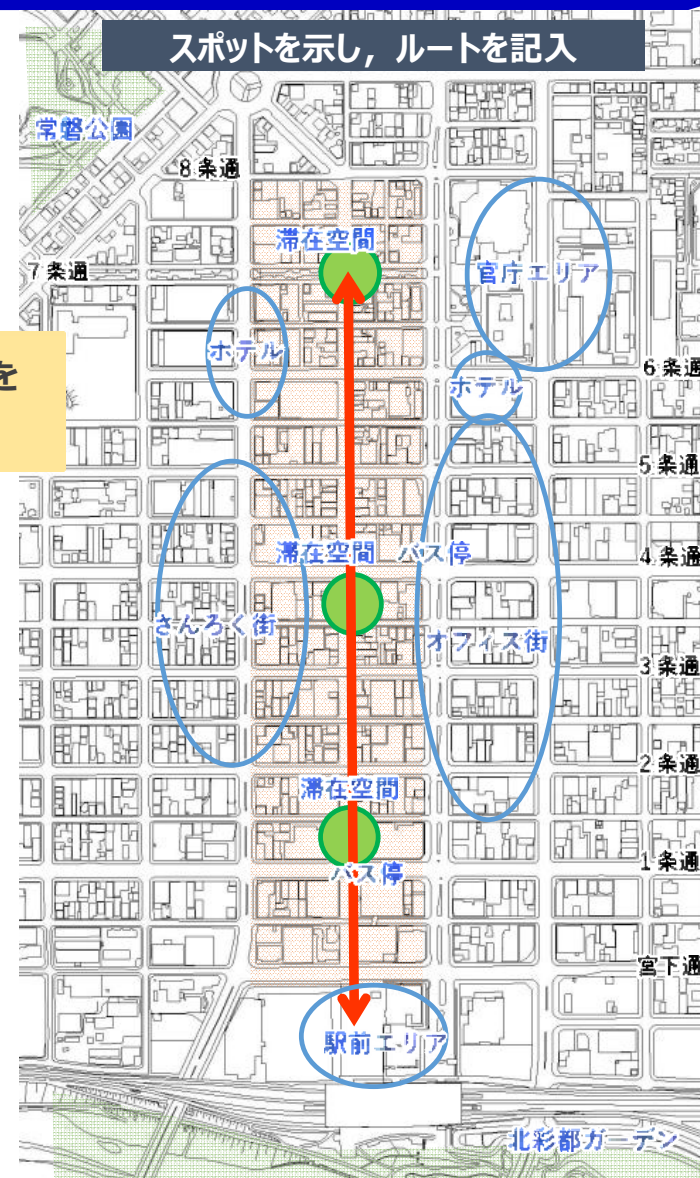
○ エリアにあるスポット
⇔ 社会実験案ルート

モビリティを活用した場面(シーン)の例

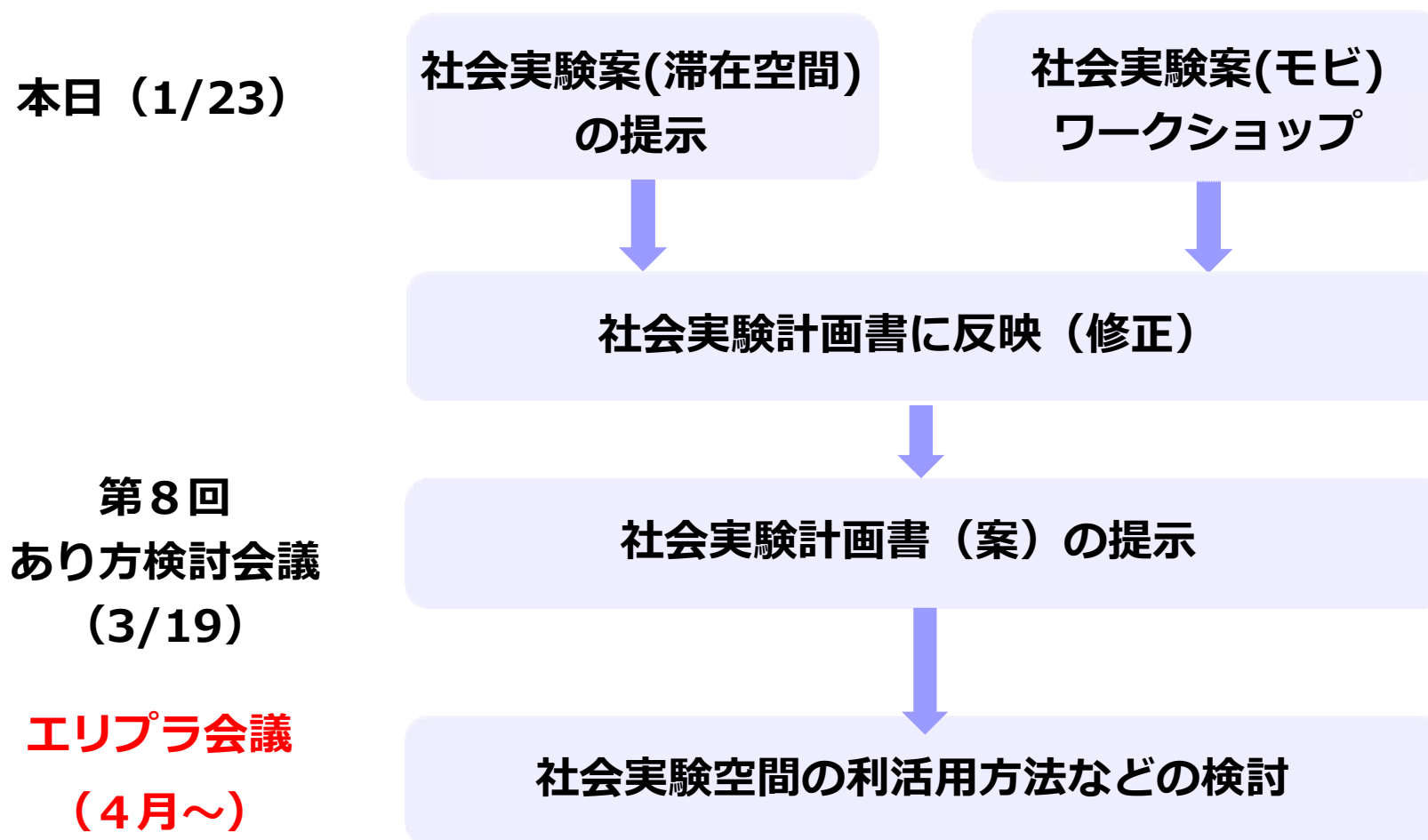
《誰》
一緒に買物に来た友人達
《いつ》
お昼どきや夕方
《どこ》
駅前と各滞在空間

《誰》
周辺ワーカー
《いつ》
平日のお昼どき
《どこ》
官庁エリアと3~5条界限

《誰》
観光・出張などのホテル利用者
《いつ》
チェックイン前後
《どこ》
駅前と6~7条のホテル



(5) 今後の流れ



4. 次回会議について

第7回

1/23

- 【エリアプラットフォーム組織構築・未来ビジョン（案）確認】
1. エリアプラットフォームについて（規約案）
 2. 未来ビジョン（案）
 3. R6社会実験（案）について

・ ・ エリアプラットフォーム組織構築（2月中旬） ・ ・

第8回

3/19

- 【未来ビジョン策定・社会実験計画書（案）確認】
1. 未来ビジョン策定
 2. 社会実験計画書（案）について

【ミニシンポジウムの開催】

新しく策定される未来ビジョンを広く周知すること、ビジョン実現に向けてどう活動していくべきかを学ぶ場として開催したいと考えています。

- プログラム案 ・ 未来ビジョン策定記念 パネルディスカッション
 ・ エリアプラットフォームについてのセミナー など

※エリアプラットフォームが主催（運営は事務局にて実施）

ミニシンポ

3/20

4月～：エリプラ会議の開催などにより、本格的に活動開始

未来ビジョン案
エリプラ規約

未来ビジョン策定・
社会実験計画書案

ミニシンポジウム